



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月13日

上場会社名 株式会社MORESICO 上場取引所 東
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 宮川 弘和 TEL 078-303-9010
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	19,810	△0.8	1,761	6.0	1,922	△5.2	1,207	△0.8
27年2月期第3四半期	19,979	14.0	1,661	25.4	2,027	41.8	1,217	37.3

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 1,060百万円 (△33.4%) 27年2月期第3四半期 1,591百万円 (28.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	124.81	—
27年2月期第3四半期	125.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第3四半期	24,744	14,207	51.7	1,322.30
27年2月期	24,411	13,396	49.1	1,238.66

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 12,783百万円 27年2月期 11,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	17.50	—	22.50	40.00
28年2月期	—	20.00	—		
28年2月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	0.7	2,200	△2.2	2,600	△6.0	1,600	△2.4	165.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期3Q	9,668,000株	27年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	610株	27年2月期	610株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期3Q	9,667,390株	27年2月期3Q	9,667,422株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成28年1月25日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気低迷が鮮明になってくる中、国内の自動車生産や鉄鋼の稼働が低調に推移する等、当社を取り巻く経済環境は引き続き厳しい状況にあります。一方、海外経済は、中国に端を発する世界的な景気減速傾向が続いており、アメリカを除く世界経済全体の経済成長が鈍化する見通しとなってきております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、第2四半期までと同様、合成潤滑油、インドネシアでの紙おむつ用ホットメルト接着剤、北米での特殊潤滑油等が堅調な売上高を維持したものの、その他の分野においては、国内外での需要の減少等により、売上高は伸び悩みました。一方で、原材料価格低下に伴う売上原価の低減はあったものの、販売単価の低下、営業外収益の減少により減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は19,810百万円（前年同期比0.8%減）となり、経常利益は1,922百万円（同5.2%減）、四半期純利益は1,207百万円（同0.8%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①日本

(特殊潤滑油)

特殊潤滑油におきましては、切削油剤および熱間鍛造潤滑剤の新規顧客獲得が順調に進むとともに、輸出も増加したものの、主力のダイカスト用油剤が、主要顧客である自動車生産の低迷により売上高が落ち込み、全体としては前年同期を下回りました。

(合成潤滑油)

高温用合成潤滑油の中で、自動車のベアリング向けグリース基油は、日本、中国等における自動車生産台数の低迷に伴い売上高が伸び悩みました。ハードディスク表面潤滑剤は、数量が減少に転じたものの、単価アップと円安により売上高は増加しました。

(素材)

流動パラフィン、ポリスチレン、国内化粧品、医薬品用途が堅調に推移したものの、リチウムイオンバッテリー分野については国内外における競争激化により数量が伸び悩んだことに加え、原材料価格低下に伴う販売単価の下落もあり売上高は減少しました。また、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートの売上高も伸び悩みました。

(ホットメルト接着剤)

ホットメルト接着剤は、主力である大人用紙おむつなどの衛生材用途が堅調に推移する中、粘着用途では新規顧客の獲得により売上高を伸ばすことができました。

以上の結果、当セグメントの売上高は15,217百万円（前年同期比3.9%減）となり、セグメント利益は1,111百万円（同7.2%増）となりました。

②中国

中国では、今年度から注力し始めた切削油剤が堅調に推移したものの、自動車生産台数が前年同月比減少に転じたことから、主力のダイカスト用油剤の売上高が伸び悩みましたが、円安により売上高では前年同期を上回りました。

当セグメントの売上高は2,120百万円（前年同期比11.7%増）となり、セグメント利益は235百万円（同4.4%増）となりました。

③東南アジア

東南アジアでは、自動車生産の低迷等景気減速が鮮明となる中、当社主力の特殊潤滑油は全般的に厳しい状況が続いているものの、インドネシアにおける子供用紙おむつ向けホットメルト接着剤の生産に支えられ売上高は前年同期を上回りました。ただし、ルピア安に伴う売上原価の上昇により減益を余儀なくされております。

当セグメントの売上高は2,882百万円（前年同期比8.4%増）となり、セグメント利益は273百万円（同14.7%減）となりました。

④北米

北米では、堅調な自動車生産を背景に、ダイカスト用油剤の販売が順調に推移するとともに、合成潤滑油も売上高を伸ばした結果、前年同期を上回る結果となりました。

当セグメントの売上高は667百万円（前年同期比14.7%増）となり、セグメント利益は85百万円（同72.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて333百万円増加し、24,744百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が281百万円、受取手形及び売掛金が422百万円減少したのに対し、有形固定資産が1,077百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて478百万円減少し、10,537百万円となりました。主な要因は、短期借入金が406百万円増加したのに対し、支払手形及び買掛金が759百万円減少したことによります。

純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて812百万円増加し、14,207百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月8日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎とする方法から、退職給付の支払見込期間および支払期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を基礎とする方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が127百万円増加、退職給付に係る負債が209百万円減少し、利益剰余金が217百万円増加しております。なお、退職給付に係る資産については、投資その他の資産に含めて表示しております。また、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,502	2,220
受取手形及び売掛金	6,895	6,473
商品及び製品	2,396	2,458
原材料及び貯蔵品	1,692	1,480
その他	354	505
貸倒引当金	△22	△24
流動資産合計	13,815	13,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,259	3,186
機械装置及び運搬具(純額)	1,146	1,627
土地	2,438	2,424
その他(純額)	1,837	520
有形固定資産合計	6,679	7,757
無形固定資産		
のれん	1,111	1,015
その他	645	658
無形固定資産合計	1,756	1,673
投資その他の資産	2,160	2,202
固定資産合計	10,595	11,632
資産合計	24,411	24,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,058	4,299
短期借入金	1,898	2,304
未払法人税等	454	244
賞与引当金	435	260
その他	1,044	1,295
流動負債合計	8,888	8,401
固定負債		
長期借入金	1,374	1,567
長期末払金	63	60
退職給付に係る負債	571	354
その他	119	154
固定負債合計	2,127	2,135
負債合計	11,015	10,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,091	2,091
資本剰余金	1,951	1,951
利益剰余金	6,991	8,004
自己株式	△1	△1
株主資本合計	11,032	12,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	51
為替換算調整勘定	850	651
退職給付に係る調整累計額	26	37
その他の包括利益累計額合計	943	739
少数株主持分	1,421	1,424
純資産合計	13,396	14,207
負債純資産合計	24,411	24,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	19,979	19,810
売上原価	13,969	13,282
売上総利益	6,010	6,528
販売費及び一般管理費	4,349	4,767
営業利益	1,661	1,761
営業外収益		
受取利息	10	15
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	121	159
為替差益	203	—
その他	48	101
営業外収益合計	392	286
営業外費用		
支払利息	16	14
為替差損	—	102
その他	10	9
営業外費用合計	26	125
経常利益	2,027	1,922
税金等調整前四半期純利益	2,027	1,922
法人税、住民税及び事業税	580	591
法人税等調整額	45	△32
法人税等合計	625	559
少数株主損益調整前四半期純利益	1,402	1,363
少数株主利益	186	157
四半期純利益	1,217	1,207

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,402	1,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△20
為替換算調整勘定	174	△286
退職給付に係る調整額	—	12
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△10
その他の包括利益合計	188	△304
四半期包括利益	1,591	1,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,367	1,002
少数株主に係る四半期包括利益	224	57

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,871	1,893	2,657	558	19,979	—	19,979
セグメント間の内部 売上高又は振替高	959	5	3	23	990	△990	—
計	15,830	1,898	2,659	582	20,969	△990	19,979
セグメント利益	1,036	225	320	50	1,630	32	1,661

(注) 1. セグメント利益の調整額32百万円には、セグメント間取引消去37百万円、たな卸資産の調整額△6百万円および貸倒引当金の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,165	2,114	2,864	667	19,810	—	19,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,052	6	18	—	1,076	△1,076	—
計	15,217	2,120	2,882	667	20,886	△1,076	19,810
セグメント利益	1,111	235	273	85	1,703	58	1,761

(注) 1. セグメント利益の調整額58百万円には、セグメント間取引消去60百万円、たな卸資産の調整額△2百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	19,770	99.2
特殊潤滑油	9,020	98.7
合成潤滑油	2,201	108.4
素材	2,667	84.5
ホットメルト接着剤	4,984	106.8
その他	897	94.6
賃貸ビル事業	40	99.6
合計	19,810	99.2

(2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	6,551	737	72	7,361
II. 連結売上高(百万円)				19,810
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	33.1	3.7	0.4	37.2

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………ブラジル

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。